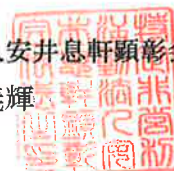


提出日 2020 年 8 月 18 日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
2020年度漢字まなび活動助成制度 活動報告書

団体名：特定非営利活動法人安井息軒顕彰会  
代表者名： 齋藤義輝



下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

1. 活動名	みやざき三計塾(安井息軒著『論語集説』を読む)		
2. 活動日 活動期間	令和2年6月7日、6月14日、6月21日、6月28日、7月5日、7月12日の6日間 午前10時～午前11時45分		
3. 活動場所	宮崎市安井息軒記念館研修室		
4. 活動目的	安井息軒先生の著作「論語集説」を講師と一緒に読みながら、漢字に親しみ、安井息軒の学問を追体験する。		
5. 対象	安井息軒及び論語に関心がある一般の方		
6. 参加費	無料		
7. 参加人数	174名	名	内訳(小学生 名、中学生 名、高校生 名、一般 174名)
8. 活動結果 (自由記述・ 写真貼り付け 等可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年、新型コロナウイルス感染防止対策の為、定員60名を半数の30名にして募集したが、30名を超える応募があり、2回目以降は空きがあれば受講していただいた。</li> <li>・ 受講生は、初めての方から3回連続受講の方もおられたが、講師は「論語集説 卷一 學而第一」に従って読み解いて、文章を分かりやすく解説していただいた。例えば「有子曰」の3文字について、歴史的な学者の注釈、その出典と関連性、さらには安井息軒の解釈等を対比した説明がなされた。</li> <li>書店で入手できる「論語」を読み解く際の入門書案内や古代中国を舞台にした歴史小説の紹介等もあり、硬軟合わせた講義で受講生も満足していただいた。また、「論語」本文に書かれた漢字と現在の漢字の違いや漢字の成り立ちについての解説もあり、「論語」を通して漢字に親しむことができたのではないかと感じる。</li> <li>・ 受講生も「文章を読むうえでの基本を押さえる大切さを教えていただいた」、「少ない文字数の中に含まれた背景や一つの文字に含まれた二つの意味等奥深く、知れば知るほど面白いと感じた」等意見も多く受講者もレベルが向上したと感じる。</li> <li>・ 最終回では、「来期も期待している」、「来年も開講してほしい」、「ずっとこの勉強会が続いて欲しい」と次年度の継続開催の要望が高かった。</li> <li>・ 主催者としても、貴協会の支援を得て、次年度も、地元大学の漢学のエキスパートである山元宣宏先生を講師とした事業を企画していきたい。</li> </ul>		



以下の資料を必ず添付して申請してください。

- 【様式2-2】漢字まなび活動助成制度 収支決算書
- 収支決算書に記載した費目の、領収書のコピー(折り曲げず、A4用紙に張り付けてご提出ください)

・複数ページにまたがっていただいても結構です。  
・本報告書の内容は、当協会ホームページ等で公表します。写真等は公表しても差し支えないものをご提供ください。

**書類の送付先**  
 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 「漢字まなび活動助成」係  
 郵送：〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
 メール：planning@ic.kanken.or.jp